

鬼が辻実行委員会

総社の冬の風物詩「鬼が辻」は、節分に豆を投げつけられる鬼たちの痛みが分かる温かい心をもってもらおうと、平成5年以降、毎年開催されているイベントです。

鬼が辻では、子どもから大人までが鬼の面をつけて会場に集い、ゲームや踊りを楽しめます。大会では、中学生・高校生をはじめ、ボランティア協議会や婦人会など多くの人に支えられているイベントの内容や意味などについてお話しします。



発表者 鬼が辻実行委員会お頭
金池 兼広さん(真壁)



「ココロをつないで」



「ココロ」をつないで、古代から未来へ向けた人・まちづくり」をテーマに、市民憲章運動推進の全国大会を9月24日(金)から26日(日)までの3日間、総社市で開催。市民憲章運動を推進している自治体や民間団体と意見交換し、人と人が心をつないで市民が一体となり、明るく豊かなまちづくりとは何かを考えます。

皆さんご参加を

大会2日目の25日(土)、市民会館での行事に、皆さん参加(市民は参加無料)してください。

俳優の長門勇さんが「今の人のココロ、けーでえーんか日本のココロ」と題した記念講演を行います。また、鬼が辻実行委員会、吉備タンチョウの会、吉備野工房ちみちがまちづくりの実践事例発表と意見交換をします。

問い合わせ 人権・まちづくり課国際・交流推進係
☎0824242

記念講演

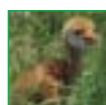


長門 勇さん

演題

「今の人のココロ、けーでえーんか日本のココロ」

3 団体がまちづくりの事例を発表



吉備タンチョウの会

「吉備路の空をタンチョウが舞う」。吉備タンチョウの会は、このことを願い、タンチョウの愛護活動やタンチョウを核にしたまちの活性化などに取り組んでいます。

吉備タンチョウの会の生い立ちをはじめ、総社とタンチョウのかかわりなどをお話しします。タンチョウまつりや写生大会、タンチョウのヒナの命名など、これまで取り組んできた事業についても、写真を交えながら紹介したいと思います。



発表者 吉備タンチョウの会副会長
川西 孝さん(原)



NPO法人 吉備野工房ちみち

吉備野工房ちみちは、人と人、人と地域を結ぶ中間支援組織で、総社の活性化に向け、「みちくさ小道」や特産品のパッケージデザインの提案などに取り組んでいます。

私たちが取り組んでいる体験型イベントの「みちくさ小道」を紹介します。人や物といった総社にある資源を発掘、活用することで、まちを元気にしようと考えています。その根底にある考え方や効果、展望などについてお話しします。



発表者 吉備野工房ちみち代表
加藤 せい子さん(奥坂)



開催前イベント 9月25日当日

9月25日(土)の午前10時30分から正午すぎまで、カミガツジプラザで、和太鼓やダンスなどの披露と、きびみどりのアイスクリームやオリジナルバーガーをはじめ、各種物産の展示販売を行います。

市民憲章運動推進全国大会 総社大会

市民会館 市民は入場無料
9月25日(土)
13:00 ~ 16:30

